

会 議 録

会議の名称	子育て支援計画策定委員会（第1回）
開催日時	平成14年7月4日（木） 午前10時から午後12時まで
開催場所	田無庁舎庁議室
出席者	（委員）有澤委員、安藤委員、片山委員、川又委員、田口委員、出川委員、古荘委員、森田委員（欠席 武田委員、本間委員） （事務局）半井部長、牧野参与、富田課長、中山児童課長、原係長、田島（コンサルタント）高屋、山領
議 題	策定方針等の確認
会議資料	（添付資料参照） 1 子育て支援計画策定委員会委員名簿、2 事務局、コンサルタント名簿、3 子育て支援計画策定委員会設置要綱、4 西東京市における市民参加の基本方針、5 子育て支援計画策定委員会傍聴要領、6 附属機関等の会議録作成に関する要綱、7 子育て支援計画策定のための基本理念及び基本方針（子ども福祉審議会 答申）、8 西東京市子どもの生活と家庭の実態・意向調査 報告書、9 子育て支援計画審議体制図、10 子育て支援計画策定委員会スケジュール（案）、11 西東京市子育てマップ、12 子育て便利帳、13 西東京市医療マップ、14 21世紀に誕生する私たちの新しいまち ～田無市・保谷市合併にむけて～
会議内容	発言者の発言内容ごとの要点記録

発言者名	発言内容
富田課長	ただいまから、西東京市子育て支援計画策定委員会を開会する。まず、市長から挨拶する。
市長	新しい市になり、西東京市にふさわしい子育て支援を行う基となる計画策定を皆様をお願いしたい。
富田課長	次に、市長から皆様へ委嘱状を渡す。 - 市長が委嘱状を手渡す -
富田課長	次に、各委員と事務局の自己紹介をお願いする。 - 各委員、事務局が自己紹介する -
富田課長	次に、委員長、副委員長の選出をお願いする。委員長が選出されるまでの間、進行を半井部長が行う。
半井部長	西東京市子育て支援計画策定委員会設置要綱第5の規定にもとづき、委員長、副委員長の選出は委員の互選により選出する。委員長への立候補又は推薦を伺う。
川又委員	皆様の同意が得られるのならば、「子ども福祉審議会」の会長職の経験のある森田委員をお願いしたい。
半井部長	森田委員との声があるが、いかがか。
委員全員	異議なし

半井部長	異議なしと認め、委員長は森田委員に決定する。
森田委員長	引き続き、副委員長への立候補又は推薦を伺う。
委員全員	立候補、推薦なし
森田委員長	どなたもいないが、事務局としてどうするか。
富田課長	西東京市の小学校長の代表である有澤委員にお願いしたい。
森田委員長	有澤委員との声があるが、いかがか。
委員全員	異議なし
森田委員長	異議なしと認め、副委員長は有澤委員に決定する。
富田課長	次に市長から、西東京市子育て支援計画の策定依頼をする。 - 市長が依頼文書を読み上げ -
富田課長	それでは、ここで休憩する。 - 休 憩 -
森田委員長	会議を再開する。事務局から配布資料の説明をお願いする。
富田課長	- 配布資料の説明 - まず、配布資料の確認を行う。 資料1が、西東京市子育て支援計画策定委員会委員名簿 資料2が、西東京市子育て支援計画策定委員会 事務局、コンサルタント名簿 資料3が、西東京市子育て支援計画策定委員会設置要綱 資料4が、西東京市における市民参加の基本方針 資料5が、西東京市子育て支援計画策定委員会傍聴要領 資料6が、附属機関等の会議録作成に関する要綱 資料7が、西東京市子育て支援計画策定にあたっての基本理念・基本方針について（答申）及び西東京市子どもの生活と家庭の実態・意向調査（概要版） 資料8が、西東京市子どもの生活と家庭の実態・意向調査 報告書 資料9が、西東京市子育て支援計画審議体制図 資料10が、西東京市子育て支援計画策定委員会スケジュール（案） である。 その他参考資料として、西東京市子育てマップ、西東京市子育て便利帳、西東京市医療マップ、21世紀に誕生する私たちのまち ～田無市・保谷市合併にむけて～ がある。 以上、14種類である。 次に、資料の説明を行う。まず、資料5の「西東京市子育て支援計画策定委員会傍聴要領」の説明を行う。西東京市の市民参加の基本方針として、各種審議会・委員会等は公開を原則としている。本委員会においてもこの方針に基づき「西東京市子育て支援計画策定委員会傍聴要領」を作成したのでご了承いただきたい。 この要領は、 傍聴人の定員は会議会場の広さ等を勘案して会長が定める。 傍聴する場合は傍聴届を提出する。 凶器その他危険なものを所持している者や酒気を帯びている者は傍聴できない。

<p>高屋、山領</p>	<p>会長の許可なしに撮影・録音をしてはならない。 などを定めたものである。 次に、資料6の「附属機関等の会議録作成に関する要綱」の説明を行う。第3「会議録作成の基本方針」に、会議録の作成方法が記されている。記録の方法としては、(1)全文記録(2)発言者の発言内容ごとの要点記録(3)会議内容の要点記録の3通りあり、この中から所管課長が選択することとされている。事務局としては、2番目の「発言者の発言内容ごとの要点記録」を選択したいと考えている。記載例については、資料の2枚目を参考いただきたいと思う。 なお、会議録の作成の手順としては、会議終了後、事務局コンサルタントで会議録を作成し、次回の会議までに事前に委員に配布し、内容をご確認いただきたいと思う。修正箇所等があったときは、次回会議でご指摘いただき、委員会で最終的にご確認いただいた後に、情報公開コーナーなどで閲覧できるようにしたいと考えている。 次に、本策定委員会は、西東京市における子どもの子育ち・子育て支援を総合的に推進し、支援計画を円滑に策定するため、支援業務を(株)パデコというコンサルティング会社に依頼し、事務局業務を共に担っていただく。それではコンサルタントをご紹介します。</p> <p>- コンサルタント自己紹介 - よろしく願います。</p>
<p>高屋</p>	<p>ひきつづき資料の説明を行う。資料9「西東京市子育て支援計画審議体制図」の説明を行う。図は、子育て支援計画を策定していく上での構成をまとめたものである。まず、審議機関として策定委員会がある。そして、策定委員会に資料提供等を行うのが事務局およびコンサルタントである。庁内の調整については、庁内に検討委員会が設置され、必要に応じて各課での調整が行われる。図の中で、作業部会というものが策定委員会の中にあるが、これについて説明する。昨年度は、「西東京市子どもの生活と家庭の実態・意向調査」が実施されているが、本年度は、このアンケート調査を補完するため、子どもたちを含む市民から意見を集めるための調査を実施する。作業部会では、このような各種調査が実施される。作業部会のメンバーは策定委員の専門委員から選出されるため、策定委員会の中に位置づけされている。また、各種調査の実施にあたっては、専門的な知識や豊富な経験が必要であるため、専門家やファシリテーターと一緒に作業をすすめていく。後ほど作業部会のメンバーを審議していただきたいと思う。 次に、資料10「西東京市子育て支援計画策定委員会スケジュール(案)」の説明を行う。まず1ページ目にある「(1)本年度の位置づけ」をご覧くださいと思う。昨年度は「西東京市子どもの生活と家庭の実態・意向調査」を行った。本年度は、「西東京市子どもの生活と家庭の実態・意向調査」を補完する調査を実施し、「西東京市子どもの生活と家庭の実態・意向調査」の結果と本年度実施する調査の結果から、西東京市における子育てや子の育ちに関する課題を探る。そして、来年度は子育て支援計画が策定される。 本年度のスケジュールは、「(2)委員会スケジュール(案)」のとおりである。図のいちばん右側に策定委員会のスケジュールが示されている。本年度の策定委員会の開催回数は6回程度を考えている。第2回策定委員会は7月24日に予定されている。9月、10月、11月には市民交流会を第3回、第4回、第5回策定委員会と併せて開催することを考えている。最後に、第6回策定委員会を来年1月くらいに予定している。第6回策定委員会では、調査結果のまとめおよび子育て・子の育ちに関する課題の抽出を行うことを考えている。 続いて作業部会のスケジュールについて説明を行う。図の中ほどにあるように、市民からの意見を聞く会を8月から10月の間に10回程度実施することを予定している。市民からの意見を聞く会では、市内の子育て・子の育ちに関する団体の</p>

森田委員長

人たちにヒアリングを行う。子ども部会は、7月下旬から10月の間に10回程度開催することを予定している。子どもたちの夏休みを利用して、小学校から大学生までの子どもたちを対象に、子どもたちがどのようなことを求めているか明らかにするためのヒアリングを行う。庁内関連部署からのヒアリング調査は、9月と来年1月の2回に分けて実施することを考えている。このヒアリング調査は、現在西東京市で実施されている子育て・子の育ちに関する事業およびその問題点を明らかにするために行う。全てのヒアリング調査の成果は、『子どもの実態データブック』という報告書としてまとめられる。

今まで色々な自治体の計画策定に関わりながら、じっくり腰を落ち着けて計画をつくとすれば、どのような市民参加の主体的な方法が可能だろうかと考えてきた。いろいろところで出会ってきた手法を参考に、調査の計画段階では、今までにない市民参加の手法を取り入れることができた。今日初めて聞かれた方は、「こんなにやるんですか」と思われたと思うし、全体像を掴みづらいつ感じられるかもしれない。そこで、委員のみなさんには策定委員会として関わっていただくことと、作業部会について補足させていただく。その上でみなさんからの質問を受け付けたいと思う。

委員の方々、特に公募いただいた委員の方々をお願いしたいのは、6回程度の策定委員会への参加である。一方、今回策定委員会の中に作業部会を設けたのは、国や自治体の審議会等では、事務局提案あるいはコンサルティング会社の提案という形で計画が持ち込まれることが多いが、今回は時間をかけて市民参加について深く考えたいという理由からである。特に、今回のように、子どもと親のための子育てを支援する計画を立てる上で、子どもや親の意見を取り入れるためには、昨年度行ったアンケート調査だけでは不足している。アンケート調査では、少数の特別な困難を抱えている人たちの意見は、多数の意見に埋もれてしまい、知ることが困難である。社会福祉では、最も社会的な困難を背負っている人たちへのケアについても考える必要がある。従って、アンケート調査ではとり込めなかった方々の意見を、こちらから出向いたり、あるいは出向いていただいたりして把握する必要がある。

まず、職員の方々への調査についてだが、職員の方々には、最前線で問題点や課題を十分におさえてくださっていると思う。ただ、昨年度に審議会で作成した子育て支援計画策定のための基本理念や基本方針に沿った形で実践しているかどうか、事業評価をまだされていないと思う。そこで、今回の職員の方々への調査では、基本理念や基本方針に沿った形で事業をすすめているかどうか事業の評価をしていただき、また、今後の課題を示していただくことを考えている。

そして、特別な困難を抱えている人たちへの調査については、こちらから出向いていく形で実施することを考えている。

それから、子どもたちへの調査についてだが、子どもたちというのは私たちが「意見を言いなさい」と言ってもなかなか言えるものではない。従って、彼らの意見を適切に拾い上げる専門家の力を借りながら進めていく必要がある。

このように、作業部会では、大きく分けて3つの作業を策定委員会と並行して進めていく。作業部会の作業状況は、常に策定委員会に報告し、策定委員会で協議していただく。策定委員会で協議していただいた内容を更に作業部会にフィードバックするという形で進めていきたいと考えている。ただし、市民の方々との交流、意見交換については、作業というレベルの話ではないので、策定委員会で市民の方との話し合いを行う。

このような形で、今年度は、計画を来年度つくるにあたって、焦点化しなくてはいけない課題と方向性をつくり上げる。

何かご質問はあるか。

有澤委員	コンサルティング会社の方に手伝ってもらうことは、私たちにとってやりやすいと思う。
田口委員	子ども、親、庁内と3つのヒアリング調査があるということだが、これらの調査結果は策定委員会に直接持ち込まれるのか、あるいは少し調整してから持ち込まれることになるか。
森田委員長	作業部会で一度整理してから策定委員会に持ち込むことになる。今回はコンサルティング会社の方もいるので、調査結果の整理などもお願いできると思う。
川又委員	ここまで市民参加を行うのはめずらしいと思う。公募の人たちが策定委員として入るといっただけで市民参加というのではなく、子ども、子育てをしている人などいろいろな人の意見を聞くということは、具体性のある計画をつくる上で重要である。大変な作業になると思うが、西東京市がこのような取り組みを行うことはとてもよいことだと思う。
森田委員長	そのほか質問はあるか。
委員全員	質問なし
森田委員長	質問がないようなので、先に進めさせていただく。 まず、審議会傍聴要領についてだが、「西東京市子育て支援計画策定委員会傍聴要領」を承認し、会議を公開とすることでよいか。
委員全員	異議なし
森田委員長	異議なしと認め、「西東京市子育て支援計画策定委員会傍聴要領」を承認し、会議を公開とすることとする。 事務局、本日は、傍聴の申し出があるか。
富田課長	本日は傍聴の申し出はない。
森田委員長	次に会議録の作成についてであるが、記録の方法は、(1)全文記録(2)発言者の発言内容ごとの要点記録(3)会議内容の要点記録の3通りの中から「所管課長が選択し、あらかじめ委員に諮る」と規定されている。事務局としては、2番目の「発言者の発言内容ごとの要点記録」を選択したいということだが、これに異議はないか。
委員全員	異議なし
森田委員長	異議なしと認め、会議録の記録の方法は、発言者の発言内容ごとの要点記録とする。 次に、今後の審議会の進め方についてだが、資料10の「西東京市子育て支援計画策定委員会スケジュール(案)」のとおりでよいか。
委員全員	異議なし
森田委員長	異議なしと認め、今後、この委員会は概ねこのスケジュールで進めていきたいと思う。 次に、作業部会の設置について、資料3の「子育て支援計画策定委員会設置要綱」第7の2項に「委員長は、必要があると認めるときは部会を設けられる」と規定されている。委員長としては、委員会に作業部会を設置し、地域のさまざま

富田課長	<p>な意見をより広くとり入れて子育て支援計画に反映させて行きたいと考えている。作業部会の人選について事務局の考えを聞かせていただきたい。</p> <p>作業部会委員の人選のことだが、先ほどコンサルから説明があったように、作業部会は、今年度における各課ヒアリング等の実施にあたり、活動部隊となるもので、延べ20日～30日間精力的に地域に出向き、市民各層からの意見を聞き、その調査結果を分析、整理する作業をしていただくことになる。これら縁の下の力持ちのような作業については大変かと思うが、策定委員の専門委員の中から、川又委員、出川委員、本間委員、森田委員の4名にお願いしたいと考えている。なお、部会長・副部会長については、専門委員のなかで互選していただきたいと考えている。</p>
森田委員長	事務局から、作業部会専門委員を私を含め4名の人選があったが、川又委員と出川委員は、ご了承いただけるか。
川又委員、 出川委員	お引き受けする。
森田委員長	本間委員は本日欠席しているが。
富田課長	お引き受けいただけることを確認してある。
川又委員	策定委員会と作業部会は、一環した連携のもとに作業を進めていく必要があるものと認識している。森田委員長がそのまま部会長を兼ねていただけたら有難い。また、副部会長にはサポート役として出川委員を推薦したい。
森田委員長	作業部会長をお引き受けする。精一杯がんばりたいと思う。
出川委員	副部会長をお引き受けする。
森田委員長	<p>では、最後に少し時間をとって、質問等を受け付けたいと思う。何か質問等はあるか。特に公募の委員の方から何かあるか。</p> <p>若い方からの意見を期待している。</p>
片山委員	がんばりたいと思う。
安藤委員	先ほど森田委員から、今までとり込めなかった人たちの意見を集めたいということだったが、今年度は、今までとり込めなかった市民と子どもを対象を広めるという捉え方でよいか。
森田委員長	<p>広めるというよりは、深めると考えるほうがよい。昨年度はアンケート調査を行ったが、アンケート調査というのは、答えられる人や答えたい人しか答えない。例えば、障害のある子どもがいる家庭は、ほんのわずかな数であるので、アンケート調査からそのような家庭の意見を拾うことは困難である。また、子どもたちの生活実態について、子どもたちがふだんどのような生活をしているか、どのように遊んでいるか、どのように施設等を有効活用しているか、といったことはアンケート調査から拾うことが困難である。このように、アンケート調査でわかったことを深めていくような調査を今年度行う。</p>
安藤委員	では、子どもたちの生の声を聞くためには、私たちも作業部会に参加したほうがよいか。

森田委員長	作業部会での調査は記録し、整理して策定委員会に上げる。ただし、作業部会の日程をご案内するので、調査の実際の雰囲気味わうために、1、2回程度作業部会に出席していただくことはよいことだと思う。
有澤委員	こちらから出向いて行って市民の意見を聞くことはよいことだと思うが、配慮すべき点が2点あると思う。1点目は、子どもたちから意見をきく時は、子どもの生の声がきけるように工夫する必要があるという点である。本校の生徒ではなく、ある校長から聞いた話であるが、ある子どもが「子ども議会」で述べたいと思っていた意見が、とても子どもらしいよい意見であったにもかかわらず、子どもが議場で実際に発言した内容が、まったく子どもらしくなく、親の要望ではないかと思うようなものになってしまった、という話がある。このようなことにならないように、子どもの生の声を把握するように配慮する必要がある。2点目は、市民から意見をきくときは、目立って活動をしている人と、目立たないところで活動している人がいるので、両方の意見を隔たりのない形で吸い上げる必要があるという点である。
森田委員長	他に何かご意見はあるか。
委員全員	意見なし
森田委員長	では、次回の日程の確認を行う。第2回の委員会は、7月24日午後1時30分から開催したいと考えている。次回以降のスケジュールについては、次回の委員会で決めさせていただきたいと思う。他に、事務局から何かあるか。
中山児童課長	次回の委員会は2時間程度を考えている。第3回から第5回策定委員会については、策定委員会の中で90分から2時間程度の市民交流会を開催し、市民交流会のあとに作業部会の報告等を1時間程度行いたいと考えている。従って、第3回から第5回策定委員会については、会場を別に移し、3時間程度の時間をいただきたいと思う。
森田委員長	他に何かあるか。
委員全員	発言なし
森田委員長	それでは第1回策定委員会を閉会する。 (閉会)